

授業科目(ナンバリング)	生活支援技術 I B(介) (DA114)			担当教員	久田 貴幸・※林田 美鳥		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1年・後期 (集中含む)	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
本演習においては、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から本人主体の生活が継続できるよう、 根拠に基づいた介護実践を行うための基礎知識を身につけることを目的とする。また、その人らしく生き ていくための生活環境づくりや生活の楽しさや生活の支障の解決についてについて学び、居住環境整備の 工夫と介護の技法を習得する。							④⑤⑦
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(林田) 栄養に関する知識を習得し、調理法の特徴と関係づけることができる。 (柳詰) 居住環境整に係る内容を説明することができる。				小テスト 定期試験 課題レポート	10% 40% 10%	
情報収集、 分析力	(林田) 個人の食生活の問題点を把握し、それぞれに適した援助を指摘できる。				授業態度・授業への参加度	10%	
コミュニケーション力	(林田) 調理の基礎を習得し、他者に的確に伝えることができる。				授業態度・授業への参加度	15%	
協働・課題解決力	(林田) 調理の課題についての的確に把握し、協力をして調理法を修得し、援助を適切に実施できる。				調理完成品	15%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
(久田) 定期試験、課題レポートにより総合的に評価する。定期試験は、筆記試験を行う。(50%) (林田) 小テストの成績とし筆記試験を行う。演習では実際に調理を行い、その完成品が目的に合ったもの になっているか、講義や演習へ理解や取り組み方をもとに評価を行う。(50%) なお、発表内容に関してはコメントの形でフィードバックを行う。							
授業の概要							
日常生活で行う調理の技術に関して学び、利用者の自立を支える支援を行うための技術を学んでいく。また、自立 に向けた居住環境の整備について学び、安全で心地よい生活の場づくりを支援するための技術についてグループワー クによる議論を通じて具体的に考え、グループワークの結果についてプレゼンテーションを行うことで、自身の考え を他者に伝える能力を身に付けられる内容とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分であ る。							
教科書・参考書							
教科書： 荘村明彦 (2019) 『最新・介護福祉士養成講座 6・7 『生活支援技術 I』』 中央法規株式会社 (林田) 事前に準備するものとして、演習 4～7 はエプロンと三角巾が必要である。 指定図書： 介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2019 下 中央法規							
授業外における学修及び学生に期待すること							
林田先生の授業では、食事に関する内容、調理実習を通して学びを深めていく。そのため、簡単な調理、包丁を使う、 火力調整、材料の加工など、自身の生活で行える調理について、事前学修として取り組んでほしい。 援助を要する人の生活に視点を当てるためには、学生の日常生活においても、自身が家事をきちんとこなすという姿 勢を持って生活することが大切である。その場合に生活を幅広くとらえ、居住環境や食生活の改善や援助のための技 術を学んで欲しい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	自立に向けた家事の介護	(講義) 食事の意義と目的・食生活の基本的知識について学ぶ(林田)	小テストにむけた 1回目授業内容の復習
2	自立に向けた家事の介護	(講義) 利用者の食生活上の問題・調理上の援助法について学ぶ(林田)	
3	自立に向けた家事の介護	(講義) 調理の基本・食品の調理性・献立の立て方について学ぶ(林田)	小テストにむけた 2回目授業内容の復習 演習内容を配布するので 目を通しておくこと
4	自立に向けた家事の介護	(演習) 嚥下食実習を通しての高齢者の栄養・食事・調理についての理解をする(林田)	
5	自立に向けた家事の介護	(講義) 嚥下食実習を通しての調理介助技法の習得について学ぶ(林田)	小テストにむけた 3～5回目授業内容の 復習 演習内容を配布するので 目を通しておくこと
6	自立に向けた家事の介護	(演習) 疾患と食事の関係について学ぶ(林田)	
7	自立に向けた家事の介護	(演習) コントロール食実習を通しての患者の 栄養・調理・食事についての理解(林田)	小テストにむけた 6～8回授業内容の復習 演習内容を配布するので 目を通しておくこと
8	自立に向けた家事の介護	(演習) コントロール食実習を通しての調理介護技 法の修得をする(林田) 1回目から8回目を含んだ小テストを実施する	
9	自立に向けた居住環境の整備 ①	居住環境整備の意義と目的について学ぶ(久田)	予習: 居住環境について 調べる 復習: 要点をまとめる
10	自立に向けた居住環境の整備 ②	生活空間と介護について学ぶ(久田)	予習: 自分自身の快適空 間について考える 復習: 要点をまとめる
11	自立に向けた居住環境の整備 ③	居住環境のアセスメントについて学ぶ(久田)	予習: 快適空間の違いを 理解する 復習: 要点をまとめる
12	自立に向けた居住環境の整備 ④	安全で心地よい生活の場づくりについて学ぶ(久田)	予習: バリアフリーに ついて調べる 復習: 要点をまとめる
13	自立に向けた居住環境の整備 ⑤	安全で心地よい生活の場づくりについて学ぶ(久田)	予習: ユニバーサルデザ インについて調べる 復習: 要点をまとめる
14	自立に向けた居住環境の整備 ⑥	施設における環境整備の工夫・留意点について学ぶ (久田)	予習: ユニットケアにつ いて調べる 復習: 要点をまとめる
15	自立に向けた居住環境の整備 ⑦	他の職種の役割と協働について学ぶ(久田) 後期授業まとめを行い、定期試験に備える	予習: 今までの要点をま とめる 復習: 要点をまとめる
16	定期試験		